

京都精華大学（以下「本学」という。）は、建学の理念とも言える「人間尊重」「自由自治」に則り、新しい人類史の展開に対して責任を負い、世界に尽力する人材の育成を使命として研究活動を推進している。

本学は、この理念の基に、研究活動の基盤となり得る研究データを適切に管理し、公開および利活用できる仕組みを整備することで、研究活動をより一層深化させ、研究データ管理・公開の社会的要請に応えることが責務であると考えている。そこで、本学は研究データを適切に管理し、公開および利活用するためのポリシーを以下のとおり定める。

1. 研究データの定義

本ポリシーにおける「研究データ」とは、研究者等が研究活動を行う過程または結果として収集または生成されたデータを指す。

2. 研究データの管理・公開・利活用

研究者等は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、国際的規範、国内外関係諸法令、学内諸規程および共同研究契約等を遵守の上、研究データを適切に管理・公開し、その利活用を促進する。

3. 本学の責務

本学は、研究者等が研究データを適切に管理し、公開および利活用するための環境を整備する。

4. ポリシーの見直し

本ポリシーは、社会情勢や研究活動を取り巻く環境の変化等に応じて、適宜見直しを行う。